

感染症禍の影響や行政に対する要望を聞きながら民商を知らせる—中央ブロック—

中央ブロックでは「まずは民商を知ってもらおう行動に取り組もう」と上古町の商店街の訪問を計画。8日に野上昇会長と渡辺文男会計も参加し、相談会のチラシと要望書を持って民商をアピールしました。

お昼時で食事のできるお店は混雑し、少しずつ感染症禍の前の日常が戻りつつある様子。でも「まだまだ悪い状況は変わらない。給付金も家賃などで消えていつている」と話し、26日に県交渉・30日に市交渉で要望を届ける事を伝えると「新たな支援策など要望はたくさんある」と訴えていました。

作家さんが作ったカップやお皿を販売しているお店は、ネット販売で忙しいとのこと。「自分は課税業者だけど、免税業者も課税業者になる制度ですよね」とインボイスに興味津々。消費税減税などの運動をしている業者団体である事に興味をもっていました。

感染症禍の影響は様々。お弁当屋さんやフルーツ大福屋さんなどテイクアウト可能なお店、アロマオイルのお店や衣料品店はそれぞれの影響はない様子。骨董品屋さんは高級品の買い控え、オーダースーツのお店はリモートワークの影響がかなりあり、品物の流通もストップしていると話していました。

中央ブロックでは、引き続き要望など生の声を聞き届け、つながりを深めるために訪問行動を計画していく予定です。



新潟民商

新潟民主商工会
新潟市沼垂西3丁目
電話 (243) 0141

21年11月15日

日程

- ・全青協総会 11月21日(日)
- ・スキルアップセミナー 11月22日(月)
- ※11月22日は代休で事務所休業となります

亀田支部・会員や元会員、新規開業訪問インボイスを知らせながら読者が3名増

亀田支部では仲間を増やす運動をさらに広げようと、会員や元会員への訪問行動を計画。11月7日に渡部睦夫新商連会長と黒井誠支部長が行動して7名を訪問・対話しました。

最初に訪問したのは体調を崩して廃業せざるをえなかった元役員の大橋さん宅。大橋さんは渡部さんと黒井さんの顔を見ると大歓迎で迎え入れてくれました。商売を廃業した後の近況や亀田支部の近況などを交流。全商連70周年の記念式典に向けて仲間を増やす運動に取り組んでいることを話すと、二つ返事で商工新聞を購入してくれました。



また渡部さんと仕事の取引のある屋根工業者を初訪問。インボイス制度の話をしてみると「全く聞いたことがない」という反応。役員二人で説明し、「インボイスを知るためにも購読を」とすすめ、とりあえずお試しで半年間購読することとなりました。亀田支部は商工新聞読者の目標達成まであと3名に迫り、LINEの役員グループで「なんとしても目標を達成しよう」と話し合っています。

国の月次支援金制度 10月分まで延長されました

国の月次支援金が10月分まで延長されることとなりました。月次支援金の10月分は時短協力金が支給された人でも申請ができます。大いに活用して商売を守る力にしましょう！

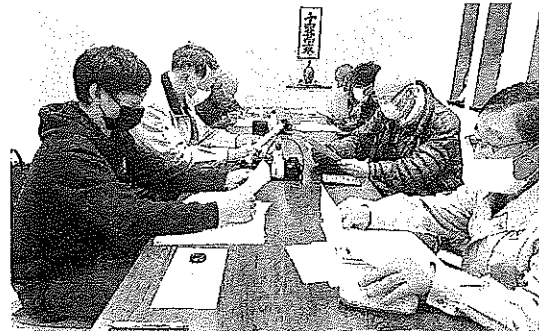
月次支援金9月分は 11月30日締切です



**毎年恒例の支部共済会学習会開催
班会の重要性を深め合うー黒埼支部ー**

黒埼支部では4日、会員の店「ふじ乃屋」にて共済会学習会を開催。高橋支部長（自動車販売）ら支部役員と呼びかけに9名が参加しました。

最初に「班支部活動の手引き」の学習。役員丸山さんは「手引きの通り班会は重要。困った人が多くいると思うので、班会を開催し要求を掘り起こすことが重要。集まる努力をしていこう」と発言していました。その後、民商共済会の制度を中心に石川共済理事が説明。高橋支部長も加わり共済Q&Aを用いての制度等の説明もされ、共済加入の必要性、重要性を確認していました。



引き続き懇親会も開催。黒埼らしいアットホームであたたかな雰囲気です。初参加の長谷川さんからは会員と役員の関わりについての質問が出され、中小業者の地位向上のための運動を会員主人公で進める民商の仕組みを支部長・支部役員が説明するなど、有意義な時間を過ごしていました。

**新潟民商共済会 大腸がん検診（速報値）
受診者数減少、昨年の受診者数を下回る**

新潟民商共済会では11月5日に大腸がん検診を実施しました。会員・家族のいのちと健康を守るため、各支部でのご奮闘お疲れ様でした。

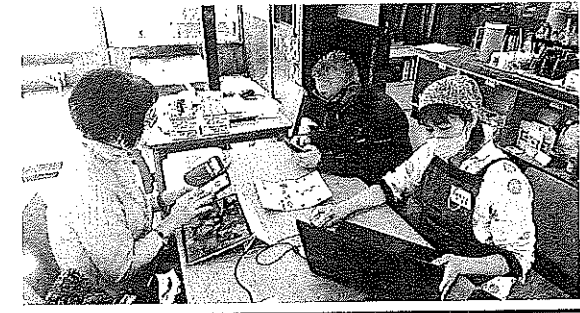
今年度は568名の方が受診（昨年度637名）し、受診者数が大幅に減少しました。会員の年齢層が年々上がり「掛かりつけの医者で受診した」などのケースが増えていること、支部役員の高齢化で前ほど丁寧な検診活動として取り組めていないことなどが課題となります。共済役員だけが頑張る活動から、支部全体で協力しながらすすめる活動への変化が求められます。今後、支部で開催される共済会学習会で、共済活動への理解を広げていくことが重要です。共済活動の基本である「目配り・気配り・心配り」が実践される民商・支部を目指しましょう。

【前年より受診者を増やした支部】

- しもまち支部、万代支部、山瀉支部、山ノ下支部、松浜支部、石山支部、寺尾支部、小針支部

**経営対策部・青年部共催ビジネススキルアップセミナー
初心者にもやさしい SNS活用講座**

11月5日、ビジネススキルアップセミナー・SNS活用講座が「えんではよこし」を会場に開催され、講師の山本美幸さんを含め3名が参加しました。



今回はフェイスブックを題材に「アカウントの作り方、投稿の仕方」など初心者に分かりやすいような基本的な使い方から始め、実践しながら進めました。山本さんはSNSがどのようなようにして自身の商売に繋がっているのかを画面に出しながら説明し「常に動いている事を伝えるために、何もなくても投稿し続ける事が大事」とアドバイス。参加者は「基礎から学べてよかった。これからは積極的に活用して、商売にも繋がられるといい。22日の事業計画書作りも楽しみにしています」と感想を述べていました。

**経営対策部・青年部共催
ビジネススキルアップセミナー
小規模事業者持続化補助金に向けた
第3回 事業計画書作成会**

11月22日(月) 19:00~20:30
会場：えんではよこし
(江南区横越川根町3丁目1-48)

今回のビジネススキルアップセミナーは、前回と同様に「小規模事業者持続化補助金」の申請に必要な「事業計画書」を参加者同士で意見交流を行ないながら作成します。自身の事業計画を第三者から意見をもらうことで新たな発見があるかもしれません。

講師
山本 美幸さん
(ミシンの友愛)
「持続化補助金の獲得経験があり、作成のポイントなどを教えてください」